



第2弾シャッターアートアーティスト

亀山 和明

KAZUAKI KAMEYAMA

鎌倉市在住 1960年～

2002年に20年間のグラフィックデザイナーから画家へと転身。海を描く為に鎌倉に移住。日々海と向き合い、海を描き続けている。制作した作品は約4200点を越え、個展、Webを通して作品を発表し続けている。

自身の絵は、高尚な手の届かない「芸術」であるよりも、生活の横にある「壁の絵」でありたいと考え、空や海や風や波の表情、なにより自然からいただく素直な感動を描くことを信条とする。見る人の心に何かしらの「安らぎ」が生まれるような作品造りをめざしている。



プロジェクト
協力者募集中!

ご興味のある方は下記までお問い合わせください。

【TEL】0466-24-1234 (平日 9:00～17:00) 大木・峯尾 宛

【メール】team.koshigoe@gmail.com

<https://koshigoeartstreet.amebaownd.com/>



HPはこちら

— 腰越アートストリート実行委員会 —

腰越協栄会 チーム腰越 江ノ島電鉄株式会社



腰越アートストリートとは？

江ノ電が通る街「腰越」のメインロードである江ノ電通りは、住民の高齢化や後継者不足により空き店舗が目立つようになりました。本プロジェクトは、かつての賑わいを取り戻すべく、『住みたい！訪れたい！帰ってきたい腰越』を目指し新たな街の魅力づくりをしていきます。



子供たちと共に描くシャッターアート

市民団体「チーム腰越」の働きかけでスタートした本プロジェクト。子供たちがいつか帰ってきたいと思える故郷を世代や職業に関係なく共に作り上げることを大切にしています。毎回、江ノ島ともだち幼稚園の園児さんたちが参加して色を塗る日を設けています。

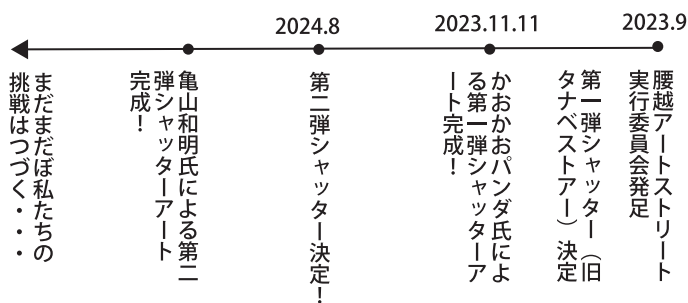


長年腰越でものづくりを続ける2人がPJを牽引 かおかおパンダ × 小野修平 (ONE KAMAKURA)

第1弾に引き続き、アートプロデューサーを務めるのはかおかおパンダさん。抽象的な絵や太陽や海、生き物など自然を題材にしたカラフルで元気な絵で見る人に力を与えます。第1弾のシャッターアートも手がけました。チーフプロデューサーは小野修平さん。腰越にアトリエを構えるオリジナルブランドショップ「ONEKAMAKURA」のクリエイターです。



これまでの歩み



【第2弾シャッター場所】

腰越3丁目江ノ電通りスーパー YAOMINE 正面

制作期間中、暖かい声かけをいただき本当にありがとうございました。ご覧になる際は車と電車に十分ご注意ください。